

事務事業名		ヤマビル被害防止対策事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	3 魅力と活力ある産業づくり					担当組織	担当部	産業文化部	担当課	農山村振興課
	政策	1 産業振興で活力のあるまちづくり					担当係	鳥獣害対策係	担当課長名	富田一夫	
	施策	1 都市型農業の推進と中山間地域の活性化					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 中山間地域の活性化					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	10535	1	6	2	2	ヤマビル被害防止対策事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
事業計画	単年度繰り返し		事業期間	25年度～	年度	根拠法令 条例等	鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律		任意的事業・義務的事業		
							実施方法		直営		
							事業分類		広報・広聴・啓発事業		
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
ヤマビルによる吸血被害を防止するため、以下の事業を行う。 ・市民に対する広報 ・市民等が立ち寄る場所への注意喚起看板の設置 ・町会等が行うヤマビル生息数減少を目的とした環境整備に対する指導・助言			<ul style="list-style-type: none"> 吸血ヤマビル防除対策リーフレット作成・主要施設への配布1,000部 生息域の確認情報収集 注意看板作成 6基 注意看板設置 6ヶ所 							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			看板の設置枚数	枚	6	6	6	6	6	6
			広報誌、ホームページへの掲載	回	0	1	1	1	1	1
			町会等の環境整備活動回数	回	0	0	2	2	2	2
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
ヤマビル生息地域に住む市民、ヤマビル生息地域を訪れる観光客等及びヤマビル生息地域の町会			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			看板の設置枚数	枚	6	6	6	6	6	6
			生息域町会	町会	8	8	8	8	8	8
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
市民及び観光客等の吸血被害の防止 ヤマビル生息数の減少			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			看板の設置枚数	枚	6	6	6	6	6	6
			町会等の環境整備活動回数	回	0	0	2	2	2	2
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
中山間地域が活性化されている。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			農産物直売所売上額	千円	932,239	983,179	975,000	980,000	985,000	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	42	42	42	42	42			
	事業費計(A)	千円	42	42	42	42	42			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			作成委託料	42	消耗品費	14	消耗品費	19	消耗品費	19
					作成委託料	21	作成委託料	23	作成委託料	23
人件費	人	1	1	1	1	1				
のべ業務時間	時間	84	84	84	84	84				
人件費計(B)	千円	327	331	331	331	331				
トータルコスト(A)+(B)	千円	369	373	373	373	373				

事務事業名	ヤマビル被害防止対策事業	担当部	産業文化部	担当課	農山村振興課	担当係	鳥獣害対策係
-------	--------------	-----	-------	-----	--------	-----	--------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	ヤマビルの生息域が拡大し、市民や観光客への吸血被害が拡大する恐れがある。吸血被害は、ヤマビルが生息していることの注意喚起や吸血被害防止のための知識を得ることで大きく減少させることが可能であることからこの事業を企画する。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	ヤマビルの生息域の拡大には、シカやイノシシ等の野生動物の増加が関係していると推測されるが、これらの野生動物は今後も増加が予想されることから、それに合わせてヤマビルの生息域も拡大が予想される。この傾向は、全国的なものである。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	平成18年6月議会、平成20年9月議会、平成21年2月議会及び平成24年9月議会において、吸血被害防止対策、市民への周知を求める質問があった。最近では、被害を受けた観光客、釣り客から注意喚起の看板を設置するよう要望が寄せられた。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	ヤマビルによる吸血被害を少なくすることは、ヤマビル生息地域(現在は全て中山間地域)に居住する市民の生活環境の改善に寄与し、中山間地域の活性化に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	観光客やヤマビル生息地域に居住する市民及びヤマビル生息地域を有する町会等に対する啓発事業であるため、市が行う必要がある。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	ヤマビル対策の重要な点は、環境整備によりヤマビルの生息数を減らし、吸血被害を防止することであり妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	ヤマビルによる吸血被害がある場所であると観光客等に認識してもらうこと、ヤマビルの性質や被害防止対策を市民に知ってもらうことが被害を防止するうえで非常に重要である。注意喚起やヤマビルの生態を認識することにより、生息地域の環境整備による吸血被害を無くす。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業名	
	類似事務事業はない	理由・改善案	ヤマビルという生物のみを対象にした事業であるため、他の事業で代替することができない。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	事業費及び人件費は、注意喚起看板の作成と設置、原稿の作成に係る人件費、町会等の行う環境整備活動に要する殺ヒル剤等の購入であり、事業目的を達成するうえでの最低限の事業費と人件費である。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	注意喚起看板の設置や研修は、観光客や一般市民が被害に遭わないようにすることが目的であるため、受益者負担を求めるものではない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
	荒廃した山間地域の生息場所の整備及び中山間地域の生息場所の環境整備や人里への野生鳥獣の出没を防いぐことにより、事業廃止となる。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																			
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) ・生息地域の住民による環境整備を進める。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">#</td> <td>成果維持</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	1	向上			#	成果維持	○	×	低下	×	×	・生息する中山間地域では、過疎化や高齢化により、環境整備する人手が足りない。 ・中山間地域の過疎化解消により、解決される。
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
1	向上																				
#	成果維持	○	×																		
	低下	×	×																		